

前立腺癌とは

男性にしかない「前立腺」という臓器にできるがんです。前立腺の細胞が何らかの原因で異常に増えることで発生します。

このがんは、多くの場合ゆっくり進行しますが、早期に発見して適切な治療を行えば、治る可能性が高いとされています。

しかし、がんが進行すると、前立腺の近くにある膀胱や直腸に広がったり、リンパ節や骨、肺、肝臓などに転移することもあります。

初期にはほとんど自覚症状がないことが多いのが特徴です。進行すると、尿が出にくい、トイレが近い、夜間に何度も起きるなどの排尿トラブルがあらわれることがあります。

さらに進むと、血尿や排尿時の痛み、骨への転移による腰や背中への痛みなどがみられることもあります。

検査

前立腺癌が疑われる場合、次のような流れで検査を行います。

1. PSA検査（血液検査）

前立腺で作られるたんぱく質「PSA」の値を調べます。値が高いと前立腺癌の可能性がありますが、炎症や肥大でも上がる場合があります。

2. 直腸診

肛門から指を入れて前立腺を触り、硬さや凹凸がないかを調べます。

3. 画像検査（MRI・CT・骨シンチグラフィ）

がんの広がりや転移の有無を詳しく確認します。

4. 前立腺生検

超音波で前立腺を見ながら、細い針で組織を採って癌細胞の有無を調べます。

治療

がんの広がりや悪性度、年齢や体力、生活スタイルなどを考慮して、医師と相談のうえで決めていきます。

どの方法にもメリット・デメリットがあるため、よく理解して納得のいく治療を選ぶことが大切です。



| 治療法 | 特徴 | 向いている方 | 主なリスク・副作用 |
|--------------------------------|-------------------------|--------------------|---------------------|
| 監視療法 | 定期的に検査しながら経過を見守る | 初期で進行が遅いがんの方 | がんが進行する可能性 |
| 手術 (開腹・腹腔鏡下手術・ ロボット支援手術) | 前立腺をすべて取り除く (根治が目標) | 比較的若く、体力のある方 | 尿もれ、性機能の低下など |
| 放射線治療 | 放射線でがんを攻撃 (外照射・内部照射) | 手術が難しい方、手術を望まない方 | 排尿障害、直腸の炎症、性機能の低下 |
| ホルモン療法 | 男性ホルモンの働きを抑えてがんを縮小させる | 手術・放射線と併用する場合や進行がん | ほてり、疲れやすさ、骨がもろくなるなど |
| 化学療法 | 抗がん剤で全身に作用する治療 | 他の治療が効かなくなった進行がん | 吐き気、脱毛、免疫力の低下など |

